

## どんな子みつけ！

おさらい会が終わった休み明け、年長さんに挨拶をすると開口一番、「おさらい会楽しかった～またやりたい！」と返って来ました。それに続いて「もう一回！アンコール！」と手拍子が始まり、傍にいた年中・少さんにもどんどん広がって行きました。お家の方に、「もう一回見たいわ」なんて声をかけていただいたのかな？“カタールワー——イワイカップ”な時間を過ごしていただけたなら幸いです。



それならば！と“おさらい会ごっこ”を企画してホールで行うことにしました。クラスや学年を問わず、身に付けるアイテムを貸してもらい、早速、音楽を流してみると…全部の役をやりたくて毎回舞台上上がる子がいたり、やっぱり自分の役が好きな子は、「こうやって踊るんだよ！」とお手本を示しながら踊ったり、年中・少さんも年長さんの劇に参加して、ピノキオの鼻を付けてみたり、それこそ舞台は満員電車のようにギューギューで、楽しんでいました。

驚いたのは、年中・少さんが言語劇に出て、小道具を上手に使うことができたり、年長の子どもたちがやっていた舞台背景の移動などを、初めてのはずの年中・少さんが、どんどん動かしていたり…。お兄ちゃんお姉ちゃんがやっていることへの深い興味や関心が、年下の子どもたちの“集中して見る”“真似をする”ことに繋がっている、その観察力の

高さや、覚えが早いその吸収力にはいつも驚かされます。憧れの気持ちが「おさらい会ごっこ」での姿に表れているのだと思うのです。

それは、おさらい会に出演していない満3歳児ちゅうりっぷ組も同じで、舞台上がってとにかく一生懸命真似をしていました。きっと、お兄ちゃんお姉ちゃんの姿が楽しそうで、“僕もやってみたい”といった様子なのでしょう。そして、「たんぼぼ組になったらおさらい会に出られる！」という期待や憧れの気持ちにも繋がっているようです。入園したばかりの満3歳児のおさらい会出演を迷った事もありましたが、段階を踏んで発表を迎えることが大切だと改めて感じる事が出来ました。

こうして、憧れの気持ちが刺激となって、子どもたちを大きく成長させます。そこには、年齢ごとの発達をとらえ、発達に応じた刺激・課題を日々の保育の中に取り入れている先生たちの願いがあってこそその成長であると、手前味噌ながらお伝えさせていただきます。

行事が盛り沢山！だった2学期も、延期や中止になることなく無事に終了。子どもたちの“おさらい会熱”は冷めやらずですが…幼稚園は冬休みになります。

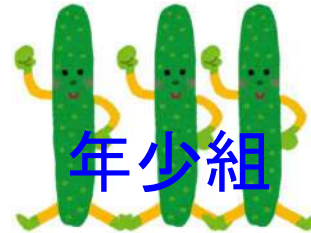
お正月には、おじいちゃんおばあちゃんのお家に行ったり、ご親戚が集まる機会も多いでしょうから、おさらい会のアンコール！…なんて、おささんの1年の成長の姿を感じていただければいいかなと思います。きっとステキなお正月になることでしょう。佳いお年をお迎えください。

# こなな

「こなな」は、ようちえんで起こる  
こななとき・こななこと・こ～んなにを  
折々お届けします。

## なんでも自信に！

ある日、たんぼぼ組がプレ保育ぐりぐら組に遊びに来ました。「先生見て！ケンケンできるよ。ぐら組の時はできなかったけど。」とやって見せてくれました。「ほんと！上手になったのね！」と言うと、「走るのだから速いんだ！」と走り出しました。「わ一年長さんみたい！」と言うと、「毎日練習してるもん！」と教えてくれました。その他、一人で寝られることや、お弁当を残さず食べることなど、出来るようになったことをどんどん教えてくれました。すると、「虫も捕まえられるんだよ。」と言うので、「怖くないの？」と聞くと、「だってスパイダーマン着てるし！」と、着ているトレーナーを引っ張って見せてくれました。出来るようになることが嬉しくて、色々なことをきっかけにして挑戦し、自信につなげているのですね。今後の報告がまた楽しみになりました。



畑のトマトを毎日チェック！青いのだから食べちゃう、食いしん坊な年少組。

## 乗りたかったのね…



ちゅうりっぷさんの電車にも乗り込んだ年中組。

ある日、年少さんからお借りした『たんぼぼ電車』をプレ保育のお友だちが走らせて遊んでいました。運動会で年少さんが走らせているのを見て、プレのお友だちも乗りたかったんだな～と微笑ましく思っていました。しばらくして、「こちらは年中駅です。お降りの方はお気をつけて～」とアナウンスすると、降りるプレの子のあとに、年中組の子どもたちがどんどん乗って来ました。あっという間に『たんぼぼ電車』は年中組で満員！そのうちに、自分たちでアナウンスをしながら、嬉しそうに走って行きました。

運動会に向けての活動中は、乗ることはもちろん、触ったりすることさえもガマン！年少さんの大事なお道具ということをちゃんとわかっていたのですね。それにしても、こ～んなに満員御礼になるなんてびっくり！ずっと？乗りたかったのですね～。



モノづくりをテーマに活動している年長組は、『ハンター※の眼鏡入れ』も手作り。

※テレビ番組の『逃走中』でお馴染みの鬼ごっこ。鬼役のハンターはサングラスを掛けて追いかけるのです。

## あけてビックリ！

お休み明けの朝、玄関で上履き袋をあけてびっくり！「え～っ！？」とNちゃん。どうしたかと思って聞いていると、「お姉ちゃんの上履きが入ってる～」と苦笑いしていました。袋を覗いてみると、大きさの違う上履きが片方ずつ(そして両方左足…)。

少し困ったお顔をしていましたが、「お母さん慌てちゃったんだね。忙しかったんだ！」と先生が声を掛けました。すると、「そうかもしれない。」と言いながら、「お兄ちゃんは自分で上履き洗ってるんだよ。」と話し始めました。お母さんが忙しいことや、お兄ちゃんがそれを助けていることも、ちゃんとわかっているのだと感心しました。「お母さんって忙しいのよね。そういうこともある。でも困るのはNちゃんだからねえ。」と言うと、「今度から自分でしまおうかな。」なんて声が返ってきました。誰かのせいにせず、自分の事として捉えたり、どうしたらいいか？考えたりすることが出来て、お母さんのうっかり！のお陰でNちゃんにとって良い体験になったなあと思いました。週開け、Nちゃんは自分で洗ったという上履きを自慢げに見せてくれました。

## こ～んな子みつけ！



「すごいでしょー」いがぐりを手にのせて、チクチクガマン比べ！



かめさんのお散歩に、次々とトンネルを作るちゅうりっぷ組。

